

奈良のむかしばなし ②

文＝山崎 しげ子 随筆家

一本足のたたら



奈良県の南部、大台ヶ原山から北西に、経ヶ峰、伯母ヶ峰と高く険しい山々が続き、やがて少し緩やかな伯母峰峠へ。

かつて、この峠を、吉野と熊野を結ぶ東熊野街道が通り、最大の難所と恐れられていた。急坂と冬の深雪、しかも、「一本足のたたら」と呼ばれる妖怪も出没したというのだ。

その昔、峠の南、天ヶ瀬に住む射場兵庫という鉄砲の名人が犬を連れ狩りに出た。と、山の中で何かが動いた。背中一面に熊笹を茂らせた大猪だった。

鉄砲を撃つ。確かに獲物を射止めた手応えはあったが、なぜか動物の姿はなく、血の跡だけが残っていた。

数日後、熊野の湯の峰に、足を傷めた一人の野武士が湯治に came。彼は宿の主人に「部屋をのぞくな」と固く言ったが、不審に思った主人がそと中を窺うと、寝ていたのは、背に熊笹を生やした大猪だった。主人の驚きの声に目を覚ました大猪の亡霊は、姿を消した。

その後、伯母峰峠あたりで一本足の妖怪が村人や旅人を喰う



「東大台ハイキングコース」から見えるシオカラ谷源流。遊歩道が整備され、年配の方にも歩きやすいコース。

という噂が広まった。目が一つで、大きな赤い口。丸太のような足が一本。やがて街道はさびれ、旅人は難儀した。そこで、丹誠という徳の高い僧が法力で妖怪を封じ込めた。ただ、十二月二十日だけは妖怪の自由に任せるという約束で、今も「果ての二十日は峠を通るな」と言い伝えられている。

かつての東熊野街道、今の国道一六九号を山を縫いながら走る。やがて東に折れ、原生林の秘境で知られる大台ヶ原へ。

ここは、日本有数の多雨地帯。



幻想的な原生林に包まれた「西大台ハイキングコース」。霧が出やすく道に迷いやすいため、初めての方は一人で行くのは控えてください。

大台ヶ原へは…電車・バスで行かれる場合は近鉄大和上市駅で下車し「上市駅」バス停から。



問 上北山村地域振興課 TEL 07468-2-0001